

モデルベース開発状態遷移研修(8月/広島会場)

『モデルベース開発』(MBD)は製造業における開発業務の大幅な効率化および品質向上を達成すると共に、新しい商品価値を生み出すための手法です。本研修では、状態遷移を用いたシステムの設計方法を学びます。

●講師陣

福山大学

●受講料

1万円/人(全2回分)

※受講者の都合による欠席に対する払い戻しはできませんのでご了承ください。

●定員

20名

●講座内容

区分	No.	教科名	概要	日程
	1	MBD 概説 stateflow 入門 stateflow 設計演習 1	<ul style="list-style-type: none">• MBD と V 字開発プロセスについて概説する。• stateflow の基礎的な使い方を習得する。• stateflow を用いた演習を行う。	2019年 8月20日(火) 10:00 - 17:00
	2	stateflow 設計演習 2 レポート作成	<ul style="list-style-type: none">• モーター制御システムに stateflow を用いた安全制御アルゴリズムを実装する。• これまでの内容をレポートにまとめる。	2019年 8月21日(水) 10:00 - 17:00

(昼休憩 1 時間)

(*) 日時及びカリキュラムの詳細については変更になる可能性があります。

●受講者の到達目標

- 機械・電気・制御ソフトの全要素が含まれたメカトロシステムの MBD V 字開発プロセスを理解する。
- 状態遷移を用いたシステムの設計方法を学ぶ。

●習得できるスキル

- 状態遷移の考え方
- Stateflow の使い方

●受講者の要件等

- モデルベース開発による制御系開発に関与している、または、今後関与する予定のある方
- 大学教養程度の物理・数学を履修していることが望ましい
- MBD プロセス研修を受講済み、または、同程度の知識を有する方

●受講目標到達度の把握・測定方法 等

- ・毎受講日の最後にアンケート調査を行い、理解度の自己評価を行います。
- ・レポートによる客観評価を行います。
- ・修了後、一定時間経過後にフォローアップ調査を行います。

●修了認定基準

- ・出席率 80%以上 かつ、レポートの評価がレベル3 以上

●受講に関する利便性

- ・講義に関する講師への質問をメールでも受けるようにします。

●主催団体等

主催：ひろしまデジタルイノベーションセンター

後援：ひろしま自動車産学官連携推進会議（ひろ自連）



●会場

マツダ教育センター（〒734-0024 広島県広島市南区仁保町2丁目12-2 2F）

JR向洋駅から徒歩20分/車でご来場予定の方は、事前に手続する必要がありますので、ご連絡ください。

マツダ教育センター

